

令和5年度第2回図書館利用者懇談会記録

名称	令和5年度第2回 図書館利用者懇談会
日時	令和5年11月11日（土）午後2時から4時まで
会場	八雲中央図書館 会議室
出席者	27人 内訳 利用者15人 区側（図書館・事務局）12人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長兼緑が丘図書館長、企画調整担当係長兼目黒区民センター図書館長、資料係長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局（庶務係）、バックヤードツアー担当（資料係2人）
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 八雲中央図書館バックヤードツアー 4 図書館からのお知らせと意見交換 5 閉会
配布資料	1 次第 2 目黒区の教育 令和3年度事業報告書 図書館抜粋（5Ⅲ図書館） 3 アンケート

主要な発言

1 開会

令和5年度第2回目黒区立図書館利用者懇談会を開催いたします。本日はお忙しいところご参加いただきまして誠にありがとうございます。それでは、八雲中央図書館長より開会のご挨拶を申し上げます。

2 八雲中央図書館長挨拶

図書館長：第1回目に行って大好評だった八雲中央図書館のバックヤードツアーを今回も行います。普段図書館に来ている時ではわからない図書館の裏側や、本の装備から棚に並べるまで様々なところをご覧いただき、図書館により親しんでいただければと思っております。ツアー終了後、感想や、図書館に対するご意見も含め、懇談をさせていただきたいと思っております。短い時間ではありますが、楽しんでバックヤードをご覧ください。

司会：この八雲中央図書館の会議室は、職員の会議や、お話し会、夏休みの臨時の閲覧席として使用しています。今日の流れですが、注意事項を申し上げたあと、バックヤードをご案内します。職員が色々な箇所の説明いたします。ご質問には、その場でもお答えいたします。その後、休憩をはさみ、皆様のご意見やご感想、意見交換などもできればと思っております。今日はお子さんもご参加いただいております。

すので、是非大人に負けずに発言いただけたらと思います。なお、記録のため録音と、お顔は写らないように写真撮影をさせていただきますのでご了承ください。

(図書館から、バックヤードツアー等についての注意事項)

3 八雲中央図書館バックヤードツアー

4 バックヤードツアーについての感想と意見交換

司会：皆様、お疲れ様でした。これから、皆様からご意見やご感想を頂戴したいと思います。保存庫など、本がこんなに入っているのかと驚かれた方も多くいらっしゃいました。「装備」といって本にカバーをかけることは目黒区では館内で行っています。このツアーは、小学校2年生の図書館見学の際にも行っています。今日のルートは小学校2年生の見学ルートとは多少違っており、お話しも大人向けにはなっていますが、このような学校の支援事業も行っています。それでは、皆様のバックヤードツアーへのご感想やご意見をうかがわせていただきたいと思います。

利用者：八雲中央図書館の蔵書が30万冊、日々200冊購入されているとののですが、古い本はどうされていますか。

図書館：毎日、本を購入し、返却される本もたくさんあると、本棚がいっぱいになってしまうため、本を減らしていくこととなります。使われなくなった本や、壊れてしまった本から「除籍」といって本棚から本を取り除く処理をしていきます。壊れてしまった本の中で、ニーズがあるものは買い替えをしています。年間5万冊程の除籍した本の一部は、図書館の入り口に、ご自由にお持ちいただけるリサイクル本として置いています。壊れてしまった本は燃える部分と燃えない部分に分けて廃棄しています。他には、児童館や区内の公共の施設にも除籍した本をお渡ししています。絶版などで手に入らない場合は修理して使っている本もあります。

利用者：マイページで予約したものがいつ入ってくるか見ていますが、なかなか入ってきません。返却されない場合には、積極的にペナルティを科したらよいと提案します。

図書館：返してくださらない方に厳しくしたらよいのではとご意見をいただくこともありますが、図書館の人に怒られるのが怖いから返しに行かれないと言われることもあります。ペナルティを厳しくしたために、プレッシャーを感じて本が返ってこないとなると、逆効果になってしまいます。返してくださいというお願いの部分と、厳しくしなければいけない部分のバランスを考えて督促しております。

利用者：返却期限が切れたら、どれくらいで連絡が来ますか。

図書館：次の予約の方がお待ちの場合は早めに1週間ぐらいで、そうでないものは2週間ぐらいで連絡をしています。それでも返していただけないものは、さらに連絡をし、1カ月返却がない場合、もうすぐ貸出が出来なくなってしまうとご連絡をします。45日過ぎるとこれ以上借りられませんという状態になりますが、返していただければ、ご利用いただけます。

利用者：保管庫で移動する本棚を拝見した際、本の端部分がいくつか本棚から少し飛

び出している状態で移動させていました。飛び出ているものが折れないような管理がされているのでしょうか。また、巻物など、特殊な形の物の保管はコンテナで別で保管したりされるのでしょうか。

図書館：巻物は専用の箱があります。大きいものなどは、普通の本棚に入りませんので、別に棚を用意しています。変形しないように、それぞれ形によって工夫して保管をしています。

利用者：巻物や古いもの、珍しいものなどは貸出されないのでしょうか。

図書館：巻物は複製品ですので、ご希望があれば、普通の本と同様に、2週間貸出ができます。ただし、本によっては古すぎて貸出ができないものもあります。本日は、珍しいものや、扱いが異なるものを色々集めました。もし読みたいものがあれば貸出ができるか確認しますのでお申し出ください。

利用者：貸出ができないというものは、館内閲覧になりますか。

図書館：いくつかレベルがあり、貸出ができるもの、貸出はできないが館内のどこでも読んでいいもの、決まった場所で図書館員が見ている前で読んでいただくものがあります。本の状態や貴重さのレベルにより様々な扱いがあります。

図書館：貴重資料が館内閲覧になっていることとお話ししましたが、古い資料は劣化しやすくなっていますのでデジタル化を少しずつ始めています。令和4年度は10点をデジタル化し、今後も継続していきます。デジタル化していくものは、目黒区の皆様に必要とされる資料として考えている地域資料であり、貴重で、なおかつ劣化が進んでいるものを早めにやっていく方針です。めぐろ電子図書館では、デジタル化した資料を見られるようになっていきますので、ご覧ください。

利用者：電子書籍でお金を払って見ているものがある一方で、目黒区の図書館にあるものでデジタル化していただけるものがあれば、目黒区民にとってはすごく嬉しいことだと思います。我々としてはお金を払わずに読みたいのですが、一方で商売としている方もいます。是非読みたいという要望ですが、それは可能でしょうか。

図書館：一般に流通している書籍を図書館でデジタル化することは、著作権の問題があり難しい状況です。目黒区の電子図書館でご利用いただけるものは、出版社と作家等が著作権問題を全てクリアし、公共図書館で運用できるものに限定されます。

利用者：調整がかなり大変なので難しいということですね。

図書館：目黒区でデジタル化している資料は、一般に流通していないものです。対象となるのは、昔の目黒区について書かれていて、目黒区で所蔵している資料です。目黒区の歴史などがわかる貴重な資料であり、目黒区が残したいもので著作権がクリアになっているものが対象になります。

図書館：お子様にもお話をうかがいたいと思います。学校と図書館、どちらで借りるほうが多いですか。

利用者：借りられる冊数が多い図書館に来て借りるほうが多いです。学校は一度に借りられる本が2冊と決まっています。

図書館：学校でタブレットを持っていると思いますが、それで本を読んだりしますか。

利用者：タブレットは使っていますが、本は読んでいません。

利用者：他区の図書館だと映像資料が割とありますが、目黒区にはありません。豊島区には映像資料がいっぱいあってうらやましいです。

図書館：目黒区では図書だけでなく雑誌や新聞も含めた紙の資料を中心に皆様に見ていただくことにしています。そのため、映像作品やCDを新しく購入していません。新型コロナウイルス感染症対策によりご来館いただけないこともあったので、図書館に来なくても皆さんに本を読んでいただけるよう電子図書館を開設しました。

絵本や物語、マンガなど、こんな本があったら嬉しいという希望はありますか。

利用者：マンガのデジタル化したものがあつたらいいなと思います。

図書館：目黒区も含めて、電子図書館を開設している図書館で、コミックを対象にしているところはまだありません。著作権の問題があり難しい状態です。現在、出版業界における電子書籍の約9割はコミックなので、図書館も今後色々考えていかななくてはなりませんが、図書館でデジタルのコミックを見られる状態には、すぐにならないと思います。

利用者：図書を探そうとしてネットから検索すると30万冊も出てきます。何も考えずに利用していましたが、すごいことだと思います。システム構築や在庫の管理、窓口など大変なことだと思います。今、図書館で働く方は何人ぐらいですか。また人数は足りていますか。

図書館：八雲中央図書館には、常勤とそれ以外の職員を併せて44名おります。その他にも業務委託のスタッフが40名ほどおります。よりよいサービスのためには、人とお金がもっと欲しいところですが、区全体の施策の中の一つであり様々な制約があるため、その中で最大の効果を生むように職員も色々考えながらやっています。

利用者：他の行政の図書館と、情報交換をしていますか。

図書館：都内の図書館と相互貸借をしています。目黒区の本だけでは足りない時に、他の区の蔵書を調べ、そこから取り寄せます。同じように他区にはなく、目黒区にあるものは他区に貸します。流れとしては、広尾の都立中央図書館で取りまとめをしていて、トラックを各区に出し、他区から都立中央図書館に本を送ってもらい、目黒区に運んでもらっています。東京都内の22市に対しても、都立多摩図書館から、都立中央図書館に運び、目黒区に行くというルートがあります。東京都以外の図書館については、借りる自治体の図書館が送料を負担して直接郵送でやりとりすることが多いです。

本の貸し借りだけでなく、図書館同士の情報交換のため、年に2回ほど集まり、お互いの区の状況や、困っていることなどを相談しています。また、日本図書館協会という組織があり、全国大会が年に1回あります。そこへ参加し、他の図書館で行われていることを、目黒区でも取り入れてみようという情報を得ています。

図書館：今年は7月と今回11月にバックヤードツアーを行いました。めぐろ区民キャンパスは昨年20周年を迎えましたが、開館当初に八雲中央図書館のバックヤードツアーを行って以来、20年ぶりの企画となりました。当時のバックヤードツアーでは電動書庫などをご覧いただいていたようでした。目黒区内の他の図書館

も色々特色があります。緑が丘図書館には、地下に児童書庫があり、電動書庫はありませんが、子どもの本や、絵本、よみものを集中管理しています。今春バックヤードツアーを行いました。他の図書館でも、特定のものを収蔵しているところがありますので、ご紹介できる機会がありましたら、バックヤードツアーを実施したいと思しますので、是非ご応募いただければと思います。

利用者：図書館ウェブサイトのマイページの予約カートに入れていたものが消えてしまいます。次の日に、消えることはないですか。

図書館：例えば、新しい本の一覧から予約する時に、「予約カートに入れる」を押していただくと、カートに入ります。これだけでは予約は完了していませんので、この後ログインをして、予約カートから予約をしていただきます。オンラインショッピングをするときに、買物かごに入れて最後にまとめて買うのと同じように、何冊かまとめて入れられます。予約カートに入れて、ログインをしていただくと、予約カートに入れたものが、マイページの中で確認できます。「このまま予約をする」をクリックしていただくと、まとめて予約が出来ます。これらを読みたい順番に設定したり、不要なものは削除したり、左側のチェックボックスから操作ができます。

利用者：予約カートに入れたものはログアウトしても保存されていますか。

図書館：カートはログアウトしてしまうと空になります。予約カートは一時的に入れるだけの場所なので、レジまで行かないと買物が終わらないのと同じです。

利用者：一度借りたものを履歴に残せますか。

図書館：是非マイリストをご利用ください。例えば予約が20件になり、これ以上予約が出来ない場合など、とりあえずマイリストに入れておくことができます。カートに入れたあと、マイリストに入れるというボタンが出てきますので、自分の覚え書きとしてマイリストの中に入れておけます。借りている一覧からも出来るようになっており、その場合は自分が借りた記録になります。本の返却後も、マイリストの中に残ります。そうすると読んだ本又は借りた本の履歴がここでわかるようになっていきます。

利用者：読みたい本をいつもマイリストに入れていきます。ただし、ここに入れてしまうと、借りた本と読みたい本が混在し、見にくくなってしまいます。

図書館：マイリストはテーマ毎に分けることができます。このカテゴリはご自身で作っていただけるので、例えば、「読み終わった本」と「これから読む本」というリストにしてもよいと思います。ここのグループ名というところに、名前を自分でつけていただけてまとめておけるようになっていきます。

図書館：リストのまん中にメモというところがあり、色々書きこむことができます。例えば、本を読んで面白かったら、メモに感想を書き、おもしろかった本というグループに入れておくと読書記録に使うことが出来ます。また、ボタン穴の縫い方を調べるのに借りた裁縫の本の何ページにボタン穴の付け方ありと書いて、返却したとします。後日また、ボタン穴を付けなければいけない時に、その本を借りて何ページを見ればわかるというような使い方が出来ます。また、書評で見ておもしろそうだがまだ借りられない本などがあつた時に、何月何日にネットに載った面白そう

な本などと書いておくなど、今後借りる予定の本にも出来ますし、調べた後の調査結果の記録が出来る等、様々な使い方が出来ます。

図書館：貸出の一覧から直接マイリストに入れると、メモ欄に自動的に何月何日どこの図書館で貸し出したというのが入るようになっていきます。それを見て、借りたものリストに登録するなどしていただけます。

図書館：メモに30文字は入るため、おせち料理ならこの本とか、酢の物作るならこの本というように、メモを活用していただけたらと思います。ファイル出力も出来るようになってきているため、論文などを書く方はこれをファイル出力して、文献リストに使ったりしているようです。マイリストには1,000件登録できます。しかし、並びすぎて使いにくいということもあるので、このカテゴリ分けやファイル出力が出来るようシステムを改修いたしました。なにかよい使い方などご提案いただけたら、ホームページで紹介したいと思います。

司会：だいぶ時間がおしてまいりました。わからないこと等がございましたら、ホームページのお問合せフォームからお問合せいただければ回答いたします。

利用者：電子図書館の項目がありますが、ログインを統合する予定はありますか。

図書館：いまのところはございません。最初は電子図書館だけで登録いただくものですが、区立図書館に登録があると使えるようになっていきます。ログイン状態のまま引き継ぐようにはなっておりません。

司会：終了のお時間になってしまい申し訳ございませんが、ほかにご質問等がございましたら、アンケートの裏面に書いていただければ、後日でお答えさせていただきたいと思います。

それでは最後に、八雲中央図書館長から閉会のご挨拶をさせていただきます。

5 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

図書館長：本日は、長いようであつという間の2時間だったと思います。皆様ご参加いただき、ありがとうございました。ご覧いただきましたように、皆様のお手元に本が届くまで、色々な過程と時間を経てお届けしています。そこに携わる職員やスタッフは、読んでいただきたい、喜んでいただきたいという思いを込めながら、皆様にお手に取っていただくように一つ一つ作業をしております。これからも、目黒区立図書館を是非有効にご活用いただき、ご自身の心の栄養を高めていただければと思います。また、何かお気づきのことがございましたら、遠慮なく、ご意見などもいただきたいと思います。今日は、本当にお寒い中お集まりいただきましてありがとうございました。皆様、また図書館に遊びにいらしてください。

司会：本日はありがとうございました。

以 上